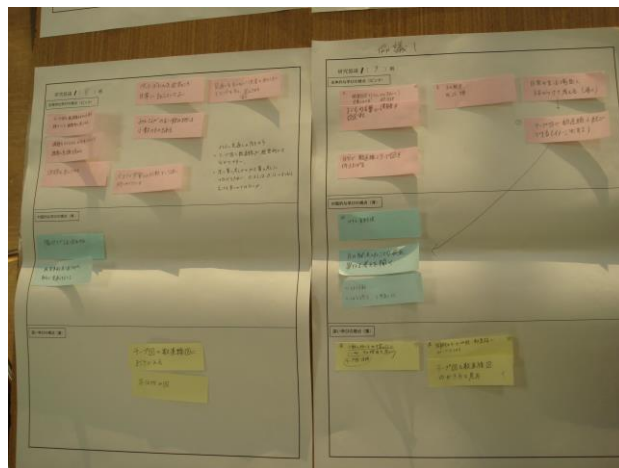


## 小学校算数 ～皆野町文化会館～

### ア 授業・研究協議の様子



### イ 参加者感想

- 「主体的・対話的で深い学び」という新学習指導要領のキーワードについて、より具体的に理解することができました。今後の学習の核になる部分に触れることができたと思います。特に「練り上げの重要性」と「単元全体のデザインを考える」の2点が印象に残っています。自校に戻って全職員にも伝えていきます。
- 児童役として参加したので、児童の立場で授業について考えることができました。様々な具体物があることで、児童は視覚的に理解できること、何度も既習事項を振り返りながら考えることで1つ1つがつながっていき、より深い学びができることなどがわかりました。
- 視点が明確になっていたこともあり、とても参考になる授業でした。先生と児童の会話の中で、何気ない言葉の中に先生の教材研究の深さを学びました。導入、練り上げを大切に、学習の振り返りもできるよう、時間配分に気を付けながら自分も取り組みたいと思います。
- 特に模擬授業②では、主体的・対話的で深い学びの効果的な手法が多く取り入れられており、納得させられる場面が多かったです。また、「主体的」「対話的」「深い学び」というそれぞれの視点に分けて協議を行うことで、自身の授業ではこの学びの場面が少なかった等、振り返ることができました。
- 授業の展開のつながりが素晴らしく、とても勉強になりました。児童の考えを比較・検討していく時にも、すべての考えにつながりがあり、皆一生懸命やったという満足感、達成感を味わえると思います。途中までの考えを完成させたいために力を出し合う練り上げは、すごく盛り上がると思いました。本場で押さえない事項は時間をかけてやること、自分でどんな学びをさせたいか考え計画することが、自分自身はできていないので、今日の研修を参考に、自分の授業を見直していきたいです。

## 第 4 学年 算数科 学習指導案

北部教育事務所

### 1 題材名 小数のかけ算とわり算

### 2 児童の実態と本題材の意図

今年度の全国学力・学習状況調査『算数A』では、問題①で「計算の能力（計算の意味と計算の仕方の理解）」が出題された。北部教育事務所管内の児童の正答率は、設問(1)(2)(3)ともに全国平均に近い値であった。しかし、市町別でみると、設問(1)では正答率のちらばりがあまりなかったものの、設問(2)及び設問(3)では市町によって正答率の違いが明確に表れる結果となった。

**①** 1 m あたりの値段が 60 円のリボンは何 m が買えます。そのときの代金の求め方を考えます。

(1) リボンを 2 m 買ったときの代金はいくらですか。また、リボンを 3 m 買ったときの代金はいくらですか。それぞれ答えを書きましょう。

(2) リボンを 0.4 m 買います。このときの代金を□円として、リボンの長さ<sup>ちゆう</sup>と代金の関係を下の図に表します。  
「1 m あたりの値段の 60」、「買う長さの 0.4」、「0.4 m 分の代金の□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。  
ア から オ までの中から、あてはまるものを一つずつ選んで、その記号を書きましょう。

(3) 0.4 m 分の代金を求めるための式を、 $60 \times 0.4$  としました。  
 $60 \times 0.4$  の答えを求めるために、次のように、 $60 \times 4$  の答えを使います。

$$\begin{array}{rcccl} 60 & \times & 0.4 & = & \square \\ & & \downarrow 10 \text{ をかける} & & \uparrow \text{㊦} \\ 60 & \times & 4 & = & 240 \end{array}$$

㊦ではどのようなことをしますか。  
下の 1 から 3 までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 10 をかける  
2 10 でわる  
3 そのまま答えにする

この問題の学習指導要領における領域・内容及び出題趣旨は以下のとおりである。

#### 【学習指導要領における領域・内容】

- 〔第 3 学年〕 A 数と計算 (3) 乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。  
イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。
- 〔第 5 学年〕 A 数と計算 (3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。  
ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。  
イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。
- 〔第 5 学年〕 D 数量関係 (1) 表を用いて、伴って変わる二つの数量の関係を考察できるようにする。  
ア 簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。

#### 【出題趣旨】 計算の能力を身に付けているかどうかをみる。

- ・乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解していること。
- ・小数の乗法の問題場面において、二つの数量の関係を数直線に表すこと。
- ・小数の乗法において、乗数を整数に置き換えて考えるときに用いる、乗法の性質を理解していること。

以上のことから計算の学習では、問題場面を的確に捉え、数量の関係を図や数直線などに表すことができるようにすること、問題を解決する過程で、「計算の意味」と「計算の仕方」を関連付けて、計算の能力を身に付けられるようにすることが大切である。

本題材では、第4学年の乗数や除数が整数の場合の小数のかけ算とわり算を扱う。児童はこれまでに、かけ算が用いられる場合とその意味、被乗数や乗数が何十・何百のかけ算、小数の意味や表し方、小数のたし算・ひき算、小数の仕組み等について学習している。第5学年における小数のかけ算とわり算では、乗数や除数が小数の場合にも用いることができるように意味の拡張を図られる。その学習に円滑に進められるよう、数直線図を用いながら計算の意味と計算の仕方を関連付けながら学習を進めていく。

### 3 埼玉県学力・学習状況調査との関わり

埼玉県学力・学習状況調査は今年度3回目を実施した。本調査の特徴は「学力の伸び」に着目するところにあり、児童生徒一人一人の学力の状況に応じたきめ細かな指導に資するものである。平成29年12月に発行された「平成29年度埼玉県学力・学習状況調査報告書」によると、今年度小学校算数科の「学力の伸び」が見られた児童の割合は、「小6→中1」で69.2%（前年比+3.1%）、「小5→小6」で65.2%（前年比+0.3%）であった。一方で、「小4→小5」では、71.4%と「学力の伸び」が見られた児童の割合は他の学年に比べて多いものの、前年比-5.4%と減少している。算数科においては、学習内容が系統的につながっていることを踏まえ、指導する際には、この学習はどの題材からつながってきているのか、この学習が今後どの題材とつながっていくのかという系統性を意識した指導と学習内容をその学年でしっかりと定着させることが重要となる。

また、この報告書では学習指導のポイントに、「場面を図に表して数量の関係を的確に捉える指導」を挙げ、数量の関係を的確に捉え、演算決定等にテープ図や数直線図、線分図を有効に使えるように指導することを求めている。また、平成27年度の報告書『指導上の改善のポイント』では、「複雑な問題を線分図に表す方法（かき方）についての指導」を挙げており、テープ図、線分図、数直線図、関係図を段階的に指導することを求めている。

本時では、テープ図から数直線図につなげるステップとして、テープの図と数直線を合わせた図を使い、問題場面の2つの数量関係をその図に表す活動を児童とともに進めていく。その上で、図と関連付けながら、式を立てたり計算の結果を求める方法を考察したりする活動を設定する。

### 4 「主体的・対話的で深い学び」の視点について

算数科では、児童自らが、問題の解決に見通しをもち、粘り強く取り組み、問題解決の過程を振り返り、よりよく解決したり、新たな問いを見いだしたりするなどの「主体的な学び」を実現することが求められる。また、数学的な表現を柔軟に用いて表現し、それを用いて筋道を立てて説明し合うことで新しい考えを理解したり、それぞれのよさや事柄の本質を明らかにしたりするなど、自らの考えや集団の考えを広げ深める「対話的な学び」を実現することが求められる。さらに、日常の事象や数学の事象について「数学的な見方・考え方」を働かせ、数学的活動を通して、問題を解決するよりよい方法を見いだしたり、意味の理解を深めたり、概念を形成したりするなど、新たな知識・技能を見いだしたり、それらを既習の知識と統合したりして、思考や態度が変容する「深い学び」を実現することが求められる。

導入時には、児童自らが「ジュース1本のかさが小数であったらどのような式になるのかな。」などと問いをもつことができるようにしたい。そこでまず、ジュース1本のかさが2Lの場合について考察する場を設ける。その後、児童が日常生活を振り返ったり、今までに学習した数について確認したりすることで、ジュース1本のかさを小数にして考えてみようとする態度を引き出

したい。その上で、乗数が整数である小数のかけ算の場合について、テープ図と数直線を合わせた図に数量の関係を表現する。児童自らが既習の内容をもとに、未習の内容について主体的に考えようとする態度を育てながら、二つの数量の関係を捉えることができるようにする。自力解決後の練り上げでは、児童の考えや発言をつなぐことで児童自らの考えや集団の考えを広げ深めるようにする。また適用問題では、計算の仕方をグループで筋道立てて説明し合う活動をとおして、新しい考え方の理解を深める。本時においては、数を構成する単位に着目したり、乗法のきまりと関連付けたりして計算の仕方を学習させることで、小数×整数の計算においても整数×整数の計算に帰着して考えることができること理解させ、しっかりと身に付けさせる。

## 5 題材の目標

- ・ 小数×整数や小数÷整数の計算の意味や計算の仕方を、既習の整数の乗法や除法の計算と関連付けてとらえようとする。(関心・意欲・態度)
- ・ 小数×整数や小数÷整数の計算を既習の整数の乗法や除法の計算をもとにして考え、具体物や図、式を用いて答えを求めたり、計算の仕方をまとめたりすることができる。(数学的な考え方)
- ・ 小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算ができる。(技能)
- ・ 小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方を理解する。(知識・理解)

## 6 指導と評価の計画

時	学習活動	おもな学習内容	評価観点・方法
1 本 時	○立式し、その式になる理由を考える。 ○ $0.3 \times 6$ の計算の仕方を考える。 ○ $0.3 \times 6$ の計算の仕方をまとめる。 ○計算問題に取り組み、一般化する。	・テープと数直線を合わせた図の表し方、見方 ・小数に整数をかけることの意味と計算の仕方	関、考 学習の様子を観察 ノート等の考察
2	○立式し、積の見当付けをする。 ○ $3.6 \times 7$ の計算の仕方を考える。 ○ $3.6 \times 7$ の筆算の仕方を考える。 ○ $3.6 \times 7$ の筆算の仕方をまとめる。 ○計算問題に取り組み、一般化する。	・数直線図の表し方、見方 ・ $1/10$ 位までの小数に1位数をかける筆算の仕方	考、技 学習の様子を観察 ノート等の考察
3	○ $0.2 \times 4$ 、 $0.8 \times 5$ 、 $7.5 \times 4$ の筆算の仕方を考える。 ○計算問題をする。 ○ $1.8 \times 34$ の筆算の仕方を考える。 ○ $1.8 \times 34$ の筆算の仕方をまとめる。 ○問題に取り組む。(計算問題、文章題)	・ $1/10$ 位までの小数に1～2位数をかける筆算の仕方	考、知 学習の様子を観察 ノート等の考察
4	○ $1.36 \times 7$ の計算の仕方を考える。 ○ $1.36 \times 7$ の筆算の仕方を考える。 ○ $1.36 \times 7$ の筆算の仕方をまとめる。 ○計算問題に取り組み、一般化する。	・ $1/100$ 位までの小数に1位数をかける筆算の仕方	関、技 学習の様子を観察 ノート等の考察
5	○小数×整数の計算の意味と計算の仕方、筆算の仕方の練習問題に取り組む。	・学習内容の定着、習熟	技、知 学習の様子を観察

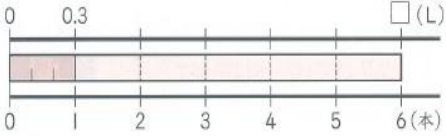
※小数のかけ算の部分のみ(以下、小数のわり算の部分は略)

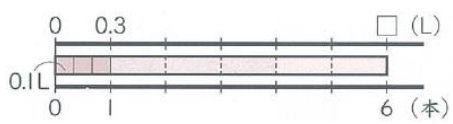
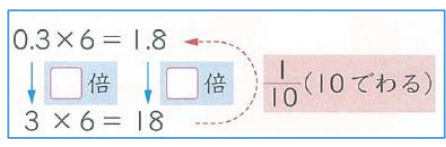
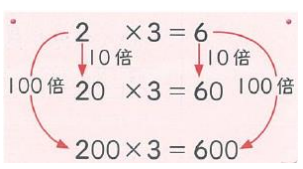
## 7 本時の学習指導

### (1) 目標

- ・ 小数×整数の計算の意味や計算の仕方を、既習の整数のかけ算と関連付けて考えようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・ 小数×整数の計算のしかたを、整数のかけ算をもとにして考え、説明することができる。  
(数学的な考え方)

(2) 展開

学習活動 及び 学習内容【 】	予想される児童の反応（・）、留意点（○）評価（☆）、支援（→）																																																
<p>1 問題場面を知り、学習課題を設定する。</p> <p>【テープの図と数直線を合わせた図のかき方、見方】</p> <p>【小数に整数をかけることの意味及び小数×整数の立式】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1本 2L (0.3L) 入りのジュースがあります。 このジュースを6本買うと、ジュースは全部で何Lになりますか。</p> </div> <p>○まず、1本が2L（整数）の場合の全部の量を考えさせる。 次に、1本が0.3L（小数）の場合を扱う。その際には、日常生活場面や今までに学習した数について想起させ、ジュース1本のかさが小数のときのことを考えてみようとする態度を引き出せるようにする。</p> <p>○テープの図と数直線を合わせた図を使い、「0.3Lの6つ分」であることを視覚的に捉えさせ、整数のかけ算と同じ構造であることに気付かせる。</p>  <p>○問題場面の数量の関係を表したテープの図と数直線を合わせた図は、児童一人一人にもかかせる。</p> <p>○被乗数が小数であっても整数の場合と同じようかけ算で立式できることを図や言葉の式等を使って確認する。 <math>\boxed{1本の量} \times \boxed{本数} = \boxed{全体の量}</math></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 0.3 × 6 の積は、どのように考えて求めればよいのでしょうか。</p> </div>																																																
<p>2 課題解決への見通しをもつ。</p>	<p>○解決方法についての見通しをもたせる。</p> <p>○教師は、整数であればかけ算ができるのに…という程度の発言にとどめる。</p> <p>○1つの方法について、図、式、言葉で説明できるようにさせる。</p>																																																
<p>3 自力解決をする。</p>	<p>・ア <math>0.3 \times 6</math> は0.3Lが6こ分だから、  <math>0.3 + 0.3 + 0.3 + 0.3 + 0.3 + 0.3 = 1.8</math>  <u>答え 1.8L</u></p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 100px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>0.3</td></tr> <tr><td>L</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>0.3</td></tr> <tr><td>L</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>0.3</td></tr> <tr><td>L</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>0.3</td></tr> <tr><td>L</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>0.3</td></tr> <tr><td>L</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>0.3</td></tr> <tr><td>L</td></tr> </table> </div> <p>・イ <math>0.3L = 3dL</math>  <math>3 \times 6 = 18</math>  <math>18dL = 1.8L</math> <u>答え 1.8L</u></p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 100px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td></tr> <tr><td>dL</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td></tr> <tr><td>dL</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td></tr> <tr><td>dL</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td></tr> <tr><td>dL</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td></tr> <tr><td>dL</td></tr> </table> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td></tr> <tr><td>dL</td></tr> </table> </div> <p>・ウ 0.3Lは0.1Lを3こ集めたかさだから、0.1をもとにして考えると、  <math>3 \times 6 = 18</math>  0.1Lが18こ分で1.8L  <u>答え 1.8L</u></p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 100px;"> <div style="margin-right: 10px;">0.3L</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td colspan="6">6本</td></tr> <tr><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td></tr> <tr><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td></tr> <tr><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td><td>0.1L</td></tr> </table> </div> </div>	0.3	L	0.3	L	0.3	L	0.3	L	0.3	L	0.3	L	3	dL	3	dL	3	dL	3	dL	3	dL	3	dL	6本						0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L
0.3																																																	
L																																																	
0.3																																																	
L																																																	
0.3																																																	
L																																																	
0.3																																																	
L																																																	
0.3																																																	
L																																																	
0.3																																																	
L																																																	
3																																																	
dL																																																	
3																																																	
dL																																																	
3																																																	
dL																																																	
3																																																	
dL																																																	
3																																																	
dL																																																	
3																																																	
dL																																																	
6本																																																	
0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L																																												
0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L																																												
0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L	0.1L																																												

	<p>・エ <math>3 \times 6</math> は 18 です。 それに小数点をつけて 1.8 <u>答え 1.8L</u></p> <p>・オ <math>3 \times 6</math> は 18 っていうことは わかるのだけれど、どう考えれば よいのだろう…。</p> <p>→自力解決が進まない児童には、ヒントコーナーにて見通しをもたせる。</p> <p>○机間支援において、エのような考えの児童には、<math>3 \times 6</math> を使ったことを認め、なぜ小数点を 1 と 8 の間におくことができるのかを考えるように促す。また、オのような考えの児童には、<math>3 \times 6</math> を使おうとしているところを認める。その後、練り上げをとおして考え方を理解したか見届ける。</p> <p>☆小数×整数の計算の意味や計算の仕方を、既習の整数のかけ算と関連付けて考えようとしている。(関心・意欲・態度)</p>
<p>4 それぞれの考え 方について知り、 比較検討をする。 (練り上げ)</p> <p>【整数×整数の計算をもとにした 小数×整数の 計算のしかた】</p>	<p>○ア(同数累加)で答えをおさえ、その後、イ(単位変換)、ウ(0.1をもとにする)の考えを取り上げる。</p> <p>○ウの考えが自力解決で児童が出てきていない場合は、教師側から示す。</p> <p>○答えは 1.8L であること確認する。</p> <p>○イ(単位変換)、ウ(0.1をもとにする)の共通している点を問い、整数×整数(<math>3 \times 6</math>)をしていることを焦点化する。</p> <p>○アウの考えを、図と関連付けてとらえ直す。</p>  <p>○アの考えについても、0.1をもとにする考えで累加していることに触れ、小数のたし算・ひき算で使った 0.1をもとにする考えが、かけ算でも使えることを明らかにする。</p> <p>○整数×整数を使っていることを明らかにした後、<math>0.3 \times 6</math> の計算のしかたについて、右のように 2 つの式を縦に並べて示し、かけ算のきまりを使った小数×整数の計算のしかたを考察させる。</p>  <p>○その際には、整数×整数で学習した『かけ算のきまり(被乗数が 10(100)倍になると、積も 10(100)倍になる)』が、小数の場合でも成り立っていることを明らかにし、かけ算のきまりを使うことでも整数×整数に帰着して考えられることをおさえる。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「<math>0.3 \times 6</math> の積は、まず 0.3 を 10 倍して 3 にします。 次に、<math>3 \times 6</math> を計算し、18 をだします。 18 は <math>0.3 \times 6</math> の積の 10 倍になっているので、 最後に 18 を 10 でわって、1.8 と求めることができます。」</p> </div> <p>☆小数×整数の計算のしかたを、整数のかけ算をもとにして考えることができる。(数学的な考え方)</p>

<p>5 適用問題に取り組む。</p>	<p>○計算の答えを出すだけでなく、考え方も表現させる。</p> <p>○3人グループで①②③を分担し、各自その問題に取り組ませる。その際に、できる児童は「かけ算のきまりを使う方法」と「0.1をもとにして考える方法」の両方で取り組むように指示する。</p> <p>① <math>0.2 \times 6</math>                      ② <math>0.7 \times 9</math>                      ③ <math>0.4 \times 2</math></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 0.2 \times 6 = \square \leftarrow \\ \downarrow 10 \text{ 倍} \quad \downarrow 10 \text{ 倍} \quad 1/10 \\ 2 \times 6 = 12 \end{array}</math> <p>答え 1.2</p> </div> <div style="text-align: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 0.7 \times 9 = \square \leftarrow \\ \downarrow 10 \text{ 倍} \quad \downarrow 10 \text{ 倍} \quad 1/10 \\ 7 \times 9 = 63 \end{array}</math> <p>答え 6.3</p> </div> <div style="text-align: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 0.4 \times 2 = \square \leftarrow \\ \downarrow 10 \text{ 倍} \quad \downarrow 10 \text{ 倍} \quad 1/10 \\ 4 \times 2 = 8 \end{array}</math> <p>答え 0.8</p> </div> </div> <p>0.2は0.1を2こ集めた数だから、 0.1をもとにして考えると、 <math>2 \times 6 = 12</math> 0.1が12こ分で1.2 答え 1.2</p> <p>0.7は0.1を7こ集めた数だから、 0.1をもとにして考えると、 <math>7 \times 9 = 63</math> 0.1が63こ分で6.3 答え 6.3</p> <p>0.4は0.1を4こ集めた数だから、 0.1をもとにして考えると、 <math>4 \times 2 = 8</math> 0.1が8こ分で0.8 答え 0.8</p> <p>○自分で担当した問題について3人グループで相互に説明し合う。考え方を筋道立てて説明できているか、答えが合っているかを確認させる。</p> <p>☆小数×整数の計算のしかたを、整数のかけ算をもとにして考え、説明することができる。(数学的な考え方)</p>
<p>6 まとめをする。</p>	<p>○適用問題において、練り上げた考え方が使えたことを確認し、一般化する。</p> <p>○本時では、(1/10のくらいまでの小数)×(整数)の計算の仕方について学習したことを捉えさせ、(1/10のくらいまでの小数)×(整数)は、「小数を整数になおして計算すればよい。」ということを確認する。</p> <p>○児童の言葉を使ってまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(1/10のくらいまでの小数)×(整数)は、<u>小数を整数になおして計算すればよい。</u></p> <p style="margin-left: 100px;">→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「0.1をもとにする」考え</li> <li>・「かけ算のきまり」を使う</li> </ul> </div>
<p>7 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけられる数の小数を10倍した式を計算し、その積を10でわれば答えがでることがわかった。</li> <li>・小数×整数の計算でも、小数を10倍したり、0.1をもとにして考えたりすることで、今までと同じように(整数×整数)で考えることができるんだ。</li> <li>・0.1をもとにして考える方法は、小数のたし算やひき算の計算のときにも使っていました。</li> <li>・小数を使ったものが身近にあるから、かけ算を使ってみたい。</li> <li>・かけられる数が1/100までの小数だったらどうなるのか考えてみたい。</li> </ul> <p>《参考：振り返りの工夫(例)》</p> <p>毎時間同じように振り返りをさせることもできますが、例えば、題材の中で数回、以下のような工夫した振り返りをさせることもできると思います。</p> <p>* (例) 児童がまちがいがやすい考え方を提示し、それを正しく直させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>さくらさんは、<math>0.3 \times 5</math>を下のような考えで計算しました。</p> <p>さくらさんの考えのまちがいを見つけ、正しい考え方を教えましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><math>0.3 \times 5</math>を計算するのに、<math>3 \times 5</math>をしました。</p> <p><math>3 \times 5 = 15</math>の15を0.(<sup>10</sup>15)のあとに書いて0.15になりました。</p> <p>だから、<math>0.3 \times 5 = 0.15</math>です。</p> </div> </div>